

事業報告

平成 28 年度

社会福祉法人原町成年寮

平成 28 年度 社会福祉法人原町成年寮 事業報告

1 はじめに

平成 28 年度における最大の事業計画であった「葛飾通勤寮」の新築移転が無事終了した。地域住民の皆様、東京都並びに葛飾区、地元町会のご協力に感謝申し上げます。

国の方針である社会福祉法人改革に定款変更を初めとして取り組みを実施した。今後も改革に伴う事務手続きが続くため、法令順守を基本に実施する。

葛飾通勤寮の移転と共に、法人本部移転を実施した。様々な引継ぎを行い、徐々に安定しつつある。

2 原町成年寮の基本理念

1 就労・自立生活に向けた支援

原町成年寮は、一人ひとりの自立した社会生活を実現するため、多様な就労・日中活動を行っています。利用者の皆様が、社会の一員としての役割と責任を担いつつ、活躍し成長して頂けるよう、日々支援しています。

2 豊かな人生を送ることへの支援

原町成年寮は、健康で安心・安全な生活を保障し、利用者の皆様が望む生活の実現をサポートしています。一人ひとりの個性を尊重し、日々の生活で豊かさを感じていただけるよう支援してします。

3 地域社会への貢献をめざす支援

原町成年寮は、地域との交流や情報交換を行い、利用者の皆様が地域社会の一員として貢献できるよう支援しています。

3 利用者心得（利用者支援上の規範）

- 1 はたらくことにほこりをもとう
- 2 なかまにおもいやりをもとう
- 3 じりつをめざしどりよくしよう

4 平成 28 年度主要課題と重点施策

- ・利用者の権利擁護と虐待防止体制の強化
- ・第 6 次プロジェクト中間見直しに基づく取り組み
- ・人材確保・育成のための取り組み
- ・通勤寮新築移転および新就労継続支援 B 型の開設
- ・法人本部移転への対応
- ・危機管理意識の徹底と安心安全な生活支援・就労支援の取り組み
- ・職場環境向上のための取り組み

5 事業報告

- ・利用者の権利擁護と虐待防止体制の強化

各事業所において、虐待防止委員会を設置して改めて倫理綱領、行動指針、虐待防止掲示物、障害者虐待相談・通報・届出先を事業所内に掲示することを確認した。また虐待防止チェックリストを実施した。

・社会福祉法人改革への対応

新制度に伴う定款変更を実施し東京都の承認を受けた。理事・監事・評議員の選定を行い平成 29 年度からの新体制に向けた取組みを実施した。

・第 6 次プロジェクト中間見直しに基づく取組み

(通所事業所の再編成)

入浴サービスについては、ニーズが高い。引き続き通所事業所の再編成の中で検討を続ける。

自閉症通所事業所の検討についてはシャインの従たる事業所「つむぎ」で実践を続け検討する。付随する畑作業については旧通勤寮から新通勤寮の屋上菜園を活用して、より広い畑作業が可能になった。

就労ステップシステム（就労移行・自立訓練・就労継続支援 B 型）においては、フォレスト及び新通所事業所 Craft において開始された。

南葛 S C とのプロジェクト推進は順調に推移している。

(生活事業所の再編)

あらかわセンターの移転等検討は年度途中でかつしかセンターに組み入れ、利用者は全員移動していただいた。

かつしかセンターの事業所再編は平成 28 年 10 月に「原町成年寮かつしかセンター」と「サザンクロスかつしか」に事業所をわけた。このことにより責任体制も分けて、確立させた。通勤寮 GH チームは上記二事業所に分けて組み入れた。

通勤寮連携型 GH は平成 29 年 1 月に、法人としては 3 つめの共同生活援助事業所「奏かつしか」を立ち上げ、ユニットとしての「葛の葉」を連携型とした。

高齢化対策 GH の検討は継続中。

(児童対策)

継続検討としている。

(高齢化対応の一環として成年後見制度の法人化検討)

継続検討としている。

・人材確保 育成のための取組み

新人研修フォローアップ研修、主任等研修を実施した。今後は評価制度の導入と共に、法人として求める職員像を策定し、それに伴う研修制度を確立したい。

・法人本部移転への対応

法人書庫をお花茶屋において賃借し、活用を開始した。

本部を援助センター 4 階に設置し、法人内外の告知に努めた。

保護者会から会費制度のない「原町成年寮家族連絡会」に移行提案を行い了解された。

・通勤寮新築移転および新就労継続支援 B 型の開設

平成 29 年 2 月末に工事完了引き渡しが行われた。通勤寮移転が 3 月 18 日に無事完了した。併設する就労継続支援 B 型 Craft は 4 月開設となった。

平成 28 年度の忘年会を「立石の葛飾通勤寮お別れ会」とし、久しぶりに GH 利用者と通勤寮利用者が一堂に会した。立石の葛飾通勤寮の 40 年を振り返り、新たな方向性を確認した、

2 年間にわたって構成してきた法人書籍「知的障害者雇用ハンドブック」を幻冬舎から発刊することができた。

- ・危機管理意識の徹底と安心安全な生活支援・就労支援の取り組み

ヒアリハット・事故報告を通して、各事業者で安全に関するフィードバック、検証を行った。

- ・職場環境向上のために取り組み

給与制度改定の取り組みは、基本の枠組みは確定したものの予算編成に間にあわず、平成 30 年度への持ち越しとなった。これは前記の評価制度と一体改革を実施する予定。

上記に伴う諸規定変更も同時に進行している。

ストレスチェックが開始され、日常に潜む問題の早期解決に結びたい。

6 各事業所事業報告

(別紙)